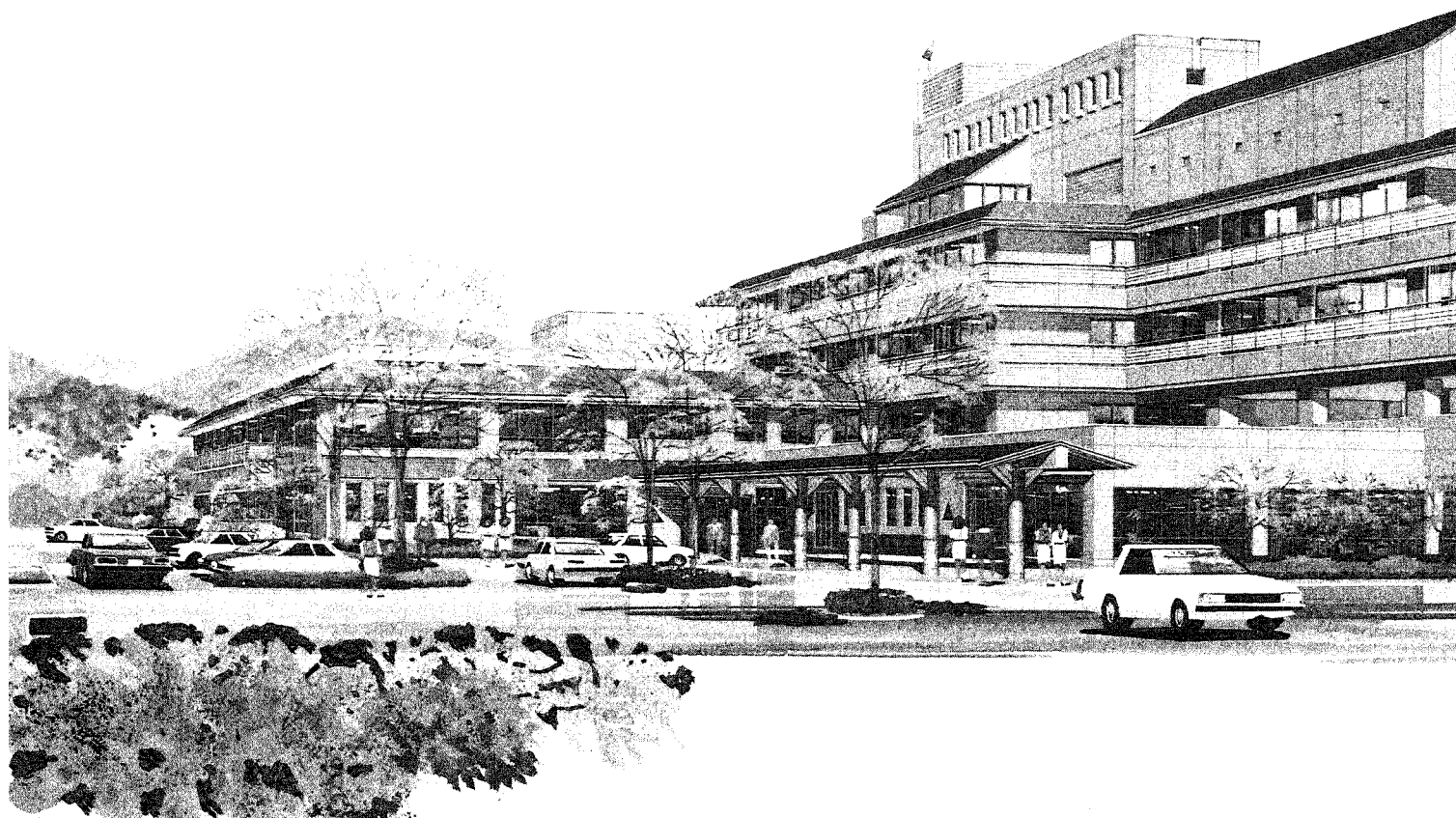




都留市立病院・老人保健施設完成予想図（つる五丁目地内）

病院・老人保健施設建設

市民待望の病院建設が、老人保健施設を含めた病院としていよいよ具体化され、建設事業に着手いたしました。

これも、市民と行政が一体となった病院実現への熱意の結果であります。

老人保健施設を併設する計画ができましたことは、本格的な高齢化社会を迎え、リハビリなどの医療サービス等を提供し、家庭生活へ橋渡しする中間施設として、病院を特徴づける最たるものと思料され、時代を先行するものであります。

顧みますれば、昭和四十九年八月「都留市公立病院建設構想について」企画推進局にプロジェクトを編成し、幾多の経緯を経て昭和六十二年五月医療整備審議会からの「病院・老人保健施設建設」についての建議に基づき、国・県に対し協議を行い、早期着工に向けて全力を傾注してまいりました。

この結果、昨年十二月十二日病院開設許可をいただき二十七日に起工式を行い建設事業に着手したところであります。



知事より病院開設許可証を受ける都倉市長

工事期間は、十三カ月の予定で、昭和六十五年四月開院に向け諸準備を進めてまいります。

今回建設いたします病院・老人保健施設は、病院六十床延べ面積四、四八二平方メートル、老人保健施設一〇〇床延べ面積三、〇九九平方メートルで、居住性・安全性・機能性を十分考慮し、最新の医療技術と機器を備え、よりよい環境で安心して医療が受けられる病院となるよう施設整備を進めてまいります。

市制発足以来、最も大きな事業であり、事業実施に万全を期して取り組んでまいり所存であります。どうかご期待いただきたいと思います。